



日本プライマリ・ケア連合学会
中国ブロック支部



発行人:中国ブロック支部長 松下明
(岡山家庭医療センター 奈義ファミリークリニック)

【学術大会参加レポート】

今年度から中国ブロックでは各県の医療系学生の学術大会参加への補助を行うこととなりました。参加者のレポートを共有させていただきます。(文責 岡山家庭医療センター 松下明)

【岡山大学医学部医学科5年 正木愛子】

学会の歩き方から家庭医療専門制度の詳細まで多彩なプログラムが同時に開催されており、どこに参加するか大変悩ましいものでした。

土曜日はエコー検診・めまい診療・高齢者救急診療などを、日曜日は思春期の子供の診療、在宅医療・介護現場における暴力対策、家族療法の高齢者診療への適用などを拝見しました。

限られた時間/機材/問診/身体診察で多彩な疾患を鑑別するための技術や、患者およびそれを取り巻く社会/環境に対して全人的アプローチを適切に行うための技術を学びました。そこに住む人の生活を継続的に支える医療には何が求められているのか、その一部を捉えられたような気がします。

医療従事者が安定した医療サービスを提供するには多くの課題があります。私が聴講した講義には、それぞれを解決するためのアイデアやコツが数多く含まれていました。現在私は学生で経験不足ですが、自分が医師として働くにつれ、本学会の内容がますますじぶんごととして捉えられ、得られる印象および情報量も大きく変わってくるでしょう。実際に自分が未だ関わったことのないよ

うな社会的バックグラウンドの方々のお例を拝見し、自分の視野の狭さを痛感しました。自分が今後実際臨床の場に出た際には、本学会で学んだことを糧として活かしていきたいと思います。このような機会をくださり、誠にありがとうございました。

【岡山大学医学部医学科5年 北山万由子】

学術大会において、2日間を通し数多くの貴重な経験ができた。その一つは、プライマリケアに興味のある学生との交流ができたことである。特に、低学年から参加している学生にとっても刺激を受けた。普段は知ることができない全国の地域医療や総合診療、研究の特色などを知ることができた。また、救急から転科された先生、神経内科と総合診療を両立されている先生など、様々なキャリアを築いてきた先生方と直接お話することができ、今後のキャリアを考えるうえでとても参考になった。

2日目にはポスター発表を行った。今回の発表は昨年行った小学6年生に対する趣向を凝らした保健授業の報告であった。発表を聞いた他大学の学生と意見交換ができ、大変有意義であった。他の学生発表を見て、全国では様々な手法で面白く興味深い活動が行われていることを再認識し、私たちも活動をより発展させていきたいと奮起した。

2日間を通し、医療とアートブースのボランティア活動も行った。医療とアートという一見対極にもあるように見えるものが融合することで新しい価値が生まれることを実感できた。作家をされている方とお話する機会があり、このブースに心を動かされていて、医学にとどまらず気持ちに寄り添う重要性を確認できた。

将来は地域住民に寄り添い必要なケアを様々な角度から届けることのできるような、地域を支える医師になりたいと考えている。



【中国ブロック支部 専攻医オリエンテーション】

今年も専攻医オリエンテーションを、以下の内容・日程で開催いたしました。今年は久しぶりの現地開催を行い、例年に以上に活気あふれるオリエンテーションとなりました。

○日時：2024年4月21日（土）9：00～12：00

○開催形式：現地+オンラインのハイブリッド開催

○対象者：

- ・日本プライマリ・ケア連合学会（JPCA）新・家庭医療専門医研修を開始した専攻医
- ・日本専門医機構 総合診療専門研修を開始した専攻医
- ・上記プログラムの2～4年次専攻医
- ・専門医、指導医、その他の職種
- ・初期研修医、医学生

○内容：

- ・草場理事長ご挨拶_動画 ※オンライン配信あり
- ・専門医制度・Fami-log説明_動画 ※オンライン配信あり
- ・レクチャー ※オンライン配信あり
 - 大塚勇輝 先生（岡山大学病院 総合内科・総合診療科）：「総合診療研修のTips」
 - 大塚裕真 先生（鳥取大学医学部地域医療学講座）：「新・家庭医療専門研修のTips」
 - 横田雄也 先生（岡山家庭医療センター）：「専門研修で役立つ学習ツール・書籍・セミナーについて」
 - 植木千代 先生（岡山協立病院）：「ワークライフバランスについて」
- ・専攻医交流会（グループディスカッション）
 - テーマ：「理想の医師像、将来の夢をおおいに語ろう」

はじめに、JPCA 草場理事長から動画で激励の言葉もあり、その後新・家庭医療専門研修制度やFami-logの使用・活用方法の説明を受けました。続いて先輩若手医師らによるレクチャーがあり、総合診療研修や新・家庭医療専門研修におけるTips、研修制度についての質疑応答、研修をより充実したものにするためのコツ、そしてワークライフバランスを踏まえた研修のすすめなど、実践的な内容のレクチャーは大変好評でありました。後半のグループディスカッションでは、理想の医師像や将来の夢を専攻医同士で共有しあい、活発な意見交換とともに、交流を深めることができましたようです。



実際に参加した専攻医からは、「具体的なTipsが知れて参考になった」「直接対面で同世代の専攻医と話せてよかった」との感想がありました。

岡山大学病院総合内科・総合診療科
横田雄也

【中国ブロック支部ポートフォリオ発表会】

2024年4月20日(土)午後、コロナ禍の為オンラインで行っていたポートフォリオ発表会を久しぶりにオンサイトで岡山大学にて開催しました。

定刻は13時開始予定でしたが、久しぶりの出逢いを楽しみ、会話が途絶えない状況を鑑みて、運営サイトで相談して、10分ほど開始時間を遅らせました。

今回のポートフォリオ発表会では、新たな取り組みを2つ行いました。1つ目は、発表エントリー形式を下記の3つにしたこと。2つ目は、発表前ポスター閲覧時間と発表後ディスカッション時間を設けたことです。

1つ目については、

- ① 優秀ポートフォリオ候補演題：我こそはという評価を希望される専攻医の先生対象
- ② ポートフォリオの種演題：ポートフォリオを初めて作る専攻医の先生や相談してみたい症例がある先生対象
- ③ 一般演題：①②以外の方対象(指導医や薬剤師もOK)

とエントリー項目を3つに分けました。

アンケートなどから、「エントリー領域が分かれていたので出しやすかった」、「事前にポスターをじっくり見る時間があって良かった」「事後にディスカッションをする時間が十分に取れて良かった」「指導医の先生のポートフォリオを見ることができて勉強になった」という意見が挙がっていました。

中でも一番多かった意見は、「やっぱりオンサイトで顔を合わせてディスカッションができるのが良かった」という内容でした。今年もポートフォリオを通じて、参加者が学び合い磨き合って、交流を深めることができたのではないかと思います。

津山ファミリークリニック/岡山家庭医療センター 辻川衆宏

